

横須賀



横須賀 子浦山倉
逗三葉鎌

煮干し解剖構造学ぶ

海洋科学高 初声中で出前授業
教諭

三浦

魚の構造を知り海への理解を深めてもらおうと、カタクチイワシの煮干しを解剖する授業が8日、三浦市立初声中学校(同市初声町下宮)の園原靖雄教諭(39)ら。三浦市が進める海洋教育の一環で、昨年10月に市と同高が連携を強化する協定を結んだことから出前授業が実現した。



煮干しについて生徒に説明する園原教諭(三浦市立初声中学校)

園原教諭

は、乾燥させることで菌の増殖を抑えるなど煮干しが腐らない理由を挙げ、「生きていたときの体の構造が残っているのが、標本として見ることができると説明。カタクチイワシは巨石を見ると年齢が推測できることや、えらの一部が海水からプランクトンをこし取る機能をもつことなど紹介した。

ど部位を取り出す作業に挑戦。身と内臓を食べ比べ、だしをとる際は頭や内臓などを除き、身だけを使えばうまみを出しやすいことも教わった。

参加した橋場未空さん(13)は「えらなど人間とは違う部位があり、その機能が分かって面白かった。苦い部分を除くなど、だしを取るときは参考にしたい」と話していた。

(湯谷 創)